

福生市議会だより

FUSSA

No.196

発行 福生市議会
平成27年4月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)



▲旧ヤマジウウ田村家住宅と宿橋通り

平成27年 第1回定例会

平成27年度各会計予算を可決 新教育委員会制度関連条例を可決

平成27年第1回定例会は、3月3日から3月27日まで会期25日間で開催され、14人の議員による一般質問が行われ、条例制定・改正、各会計予算など市長提出議案29件、委員会提出議案2件、議員提出議案1件、陳情6件などが審議されました。

本会議の経過

▼1日目(3月3日)は、委員の定数を定める条例を可決した後、各委員会を可決した。なお、秋川衛生組合関連の議案3件を可決し、平成27年度一般会計予算は、福生市一般会計予算審査特別委員会を設置し、審査することとしました。

▼2日目(3月4日)は、5人の議員が一般質問を行いました。最終日、委員会へ付託した議案22件を可決し、続いて、市民厚生委員会所管事務調査結果報告及び定住化対策特別委員会調査結果報告があり、その後、新たに提案された補正予算、教育委員会の人事案件2件及び、委員会提出議案2件を可決し、議員提出議案1件及び、陳情6件は継続して審査することとし、今定例会を終了しました。

▼3日目(3月5日)は、4人の議員が一般質問を行い、14人の議員の一般質問が終了しました。

▼4日目(3月6日)は、総務文教委員会へ付託された福生市教育委員会の

委員会提出議案第1号
軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書

軽度外傷性脳損傷は、転倒や転落、交通事故、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受けた際に脳が損傷し、脳内の情報伝達を担う「軸索」と呼ばれる神経線維が断裂するなどして発症する疾病です。その主な症状は、高次脳機能障害による記憶力・理解力・注意力の低下を始め、てんかんなどの意識障害、半身まひ、視野が狭くなる、匂いや味が分からなくなるなどの多発性脳神経まひ、尿失禁など、複雑かつ多様です。

しかしながら、軽度外傷性脳損傷は、受傷者本人から様々な自覚症状が示されていないにもかかわらず、MRIなどの画像検査では異常が見つかりにくい。ため、労働者災害補償保険(労災)や自動車損害賠償責任保険の補償対象にならないケースが多く、働くことができない場合には、経済的に追い込まれ、生活に窮することもあるのが現状です。さらに、本人や家族、周囲の人たちも、この疾病を知らないために誤解が生じ、職場や学校において理解されずに、悩み、苦しむ状況も見受けられます。

世界保健機関(WHO)においては、外傷性脳損傷の定義の明確化を図った上で、その予防措置の確立を提唱しており、我が国においてもその対策が求められるところと見られます。

よって、福生市議会は、国においては、以上の現状を踏まえ、次の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望します。

1 軽度外傷性脳損傷(MTBI)について、国民をはじめ、教育機関等に対し、広く周知を図ること。

2 画像所見が認められない高次脳機能障害の労災認定に当たっては、厚生労働省に報告することとされているが、事例の集中的検討を進め、医学的知見に基づき、適切に対応が行われるよう、取り組みを進めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

【提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣】

主な内容

可決された案件	2面
議会日誌	2面
予算審査から	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

道徳授業地区公開講座はどう行われたか

杉山 行男 議員

質問 文科省は、「わたしたちの道徳」を作成し配布した。市の道徳授業地区公開講座について、教育委員会の見解、各学校の取り組みは。

教育長 公開講座は学校・家庭・地域社会の三者が連携して子供たちの心を育み道徳教育の充実を図る目的で都内全公立小中学校で行っている。授業では児童・生徒の発達段階に合わせた教材活用や質問の工夫が見られ、講演会も充実していた。授業と授業の間に講演会や意見交換会を設定したことで参加者数が昨年度より増加している。引き続き三者一

体の道徳教育を推進していきたい。



▲第三中学校で行われた道徳授業地区公開講座の様子

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、14人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

要旨の掲載は一問とし4ページから5ページまでに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。詳しくは、5月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

銀座通りインターロッキング舗装の不具合と対応策は

武藤 政義 議員

質問 銀座通りインターロッキング舗装補修工事は、どのような不具合にどう対応したのか。

市長 がたつきや沈下が生じた銀座通りのインターロッキング舗装を、25年度から4年計画で補修している。劣化したブロックを撤去し路盤を再度締め固めた後、セメントを混ぜた砂を敷きならし新しく張り替え、目地材も改良した。マンホール周囲のブロックは撤去し硬化が速く強度のあるモルタルで固定した。沿道の商店の営業と工事効率を考え、26年度から夜間作業に切り替え、安全安心

な通行に向け進めている。



▲銀座通りのインターロッキング

大型パチンコ店の建設計画に市はどう対応するのか

末次 和夫 議員

質問 大型パチンコ店が市中央部に出店する計画だが、市の対応は。また、定住化促進や都市計画マスタープランへの影響はないのか。

市長 民間事業者が自己資産の活用として関係法令に基づき適法に行うものなら、市として出店を認めざるを得ない。新5G施策による子育て世代の居住地選択行動にどう影響するかはわからないが、都市計画マスタープランの基本的な方向性に見直しが必要とは考えていない。今後、宅地開発審査願が市に提出されれば、宅地開発等指導要綱に基づき対応し

ていきたい。



▲平成26年3月に作成された都市計画マスタープランと住宅マスタープラン

公園などへの防犯カメラ設置で安全・安心のまちづくりを

五十嵐 みさ 議員

質問 子供や女性の安全を守り安心感も向上させる防犯カメラを公園や通学路へ設置するよう要望する声が多い。市はどう対処する考えか。

市長 公園へは、犯罪の未然防止の観点から福東トモダチ公園など一部には既に設置しているが、個人情報保護と費用の点もあり公園の新設・改修時に必要性を検討したい。

教育長 通学路へは、地域住民の見守り活動を補う観点から、東京都の補助金を活用して設置する予定でいる。毎年の通学路点検や福生警察署との協議から、効果的な防犯カメ

ラの設置場所を決定していきたい。



▲市内に設置されている街頭防犯カメラ

悪質商法・振り込め詐欺被害の福生の現状と対策は

田村 正秋 議員

質問 振り込め詐欺など特殊詐欺や悪質商法は手が込んできて全国で被害が多発し、過去最悪の状態だが当市はどんな対策をとっているのか。

市長 福生警察署管内の他の市町に比べ福生市民の被害は少なかった。市は、「悪質商法・振り込め詐欺ゼロキャンペーン」として高齢者世帯への訪問による啓発活動を行うとともに、「たっけー☆☆トレイン」と称し被害防止を促すラッピング広告をした電車をJR青梅線・中央線区間において走らせ周知に努め、一定の効果はあったと考える。



▲「たっけー☆☆トレイン」で被害防止を促す

新しく始まる中学校給食をどう指導していくのか

岩崎 百合子 議員

質問 以前、市内の中学校視察で、ランチルームや教室での昼食は、時間がとても短く課題を感じた。今後どう指導していくのか。

教育委員会参事 給食の準備から後片付けまで、教室を食事の場として整えられるよう、教員の指導はもとより生徒会委員会の啓発活動、学級内の給食係等の活動が組織的・継続的に行われることが大切である。今後は各中学校の実態に応じて、必要な給食時間を確保し、校長のリーダーシップのもと、教員の統一した指導方針により、社交性や協同の精

神が身に付くよう指導していきたい。



▲第二中学校のランチルーム準備の様子

ふっさっ子未来会議の2年間の総括と今後について

清水 義朋 議員

質問 学力向上、不登校児童・生徒の改善、魅力ある学校づくりを目指して設置したふっさっ子未来会議についてどう総括するか。

教育長 不易と流行の教育課題に答える6つの提言を具現化するため、①身に付けるべき習慣を示したふっさっ子スタンダード②学校不登校総合対策③英語教育推進のための小学校外国語活動年間指導計画④いじめ防止基本方針⑤発達特性や障害に応じた「特別支援教育アクション20」⑥コミュニティ・スクール構想を策定した。なお、ふっさっ子未来会議

は、3月で一旦休止する。



▲ふっさっ子未来会議報告書概要版とふっさっ子スタンダード

子ども家庭支援センターの若者支援について

阿南 育子 議員

質問 子ども家庭支援センターの支援は中学校卒業以降の対象者については十分でない。この時期の若者の自立に向けた支援をどう考えるか。

市長 国は子ども・若者の育成支援策として平成22年に子ども・若者育成支援推進法を施行し、子ども・若者ビジョンを策定した。東京都では、総合対策となる「東京都子供・若者計画（仮称）」策定に向け審議が進められている。本市では、子ども家庭支援センターに窓口を置き各部署の特徴を活かし支援の情報共有や先進事例の研究を進め相談支援の

充実を図っていききたい。



▲子ども家庭支援センターがある子ども応援館

福生市の介護保険事業の特徴と介護施策を聴く

原田 剛 議員

質問 26年11月の第1号被保険者数に対する認定者数割合は全国で18%だった。当市の特徴と在宅重視の介護施策をどう考えるか。

市長 当市の割合は13.8%と低く、全国や都の平均と比較して要支援1～要介護1の割合が低く、要介護2・3の割合が高い。単身世帯の高齢者の症状発見が遅く、また単身のため在宅介護が困難で施設サービスを利用する割合も高い。第6期介護保険事業計画では、支援が必要な人が重度化する前に早期に支援を入れるよう、地域包括センターや在宅介

護支援センターの充実を図りたい。



▲脳と体のいきいき教室（認知症予防教室）の様子

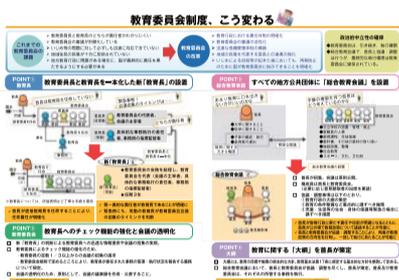
現行の教育委員会の課題と総合教育会議とのかかわりは

青海 俊伯 議員

質問 総合教育会議の協議・調整機能により、教育委員会は独立した執行機関であるという意識改革が求められると思うが、どうか。

市長 総合教育会議は市長が主宰し、まず教育大綱を協議し策定することとなる。会議で協議・調整し結論を得たことは、市長と教育委員会で事務を管理執行するが、今まで以上に市長部局と教育委員会の連携を密にしていかなければならない。当然、職員の意識改革も求められている。新教育委員会制度はまちづくりにも大きなチャンスで、全職員がそ

の意識を持ち進めていききたい。



▲地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律のパンフレット（文部科学省HPより）

シティセールスに向け子供にアイデアの呼びかけを

大野 悦子 議員

質問 全国親子クッキングコンテスト出場の当市児童の献立が給食になり新聞が取り上げた。積極的に子供に意見を呼びかけてはどうか。

市長 第六小学校5年の石井さん親子考案の酒粕入り豚汁が全国親子クッキングコンテスト東京都大会で優勝した。学校給食課で献立にして子供たちも食べて一緒に応援したところ、大きく報道もされ全国決勝大会で準グランプリとなり、福生市をPRする結果となった。子供の枠にとられないアイデアにはすばらしいものがある。募集や施策への反映

の仕組みづくりも考えていききたい。



▲全国親子クッキングコンテストで準グランプリを獲得したメニュー

JR東福生駅にエレベーター、エスカレーターの設置を

奥富 喜一 議員

質問 駅へのエレベーター等の設置について、利用者数基準が変わったと聞かすが、東福生駅への設置要望についてどう考えるか。

市長 東福生駅のバリアフリー化については従来より要望活動を行ってきた。バリアフリー新法に基づく移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正により、一日の利用者数3千人以上の鉄道駅はエレベーター等の設置対象となる。JR八王子支社としては、東福生駅の利用客数は非公表ながら増加傾向にあり設置を検討していくとのことだが引き続きバ

リアフリー化要望を続けていききたい。



▲エレベーター、エスカレーターの設置が望まれる東福生駅

市内建築物の耐震化促進に耐震マーク表示制度活用を

堀 雄一郎 議員

質問 建物耐震化を促進するため、東京都は耐震基準を満たした全ての建築物に耐震マークを無料で交付している。本制度の活用を提案する。

市長 民間建築物の耐震診断や改修は原則として所有者が行うものだが、市では災害に強いまちづくりを行うため経費の一部を助成し耐震改修を促進してきた。東京都耐震マーク表示制度は耐震化を促進する環境整備の施策として創設されたが、建築物の所有者や管理者が担当事務局に申請する手順をとる。本市での制度の活用は、現耐震改修促進計画の

見直しの中で盛り込んでいきたい。



▲耐震マーク表示制度のポスター

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジジー方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

☎042-551-1523

○デジジー（DAISY）とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

福生市でも75歳以上の医療費無料化を

池田 公三 議員

質問 日の出町で75歳以上の医療費無料化実施後5年経過し、1人当たり医療費も町財政負担も縮減傾向だ。当市でも取り入れてはどうか。

市長 75歳以上の9割を超える方が自己負担1割であり、自己負担を除く医療給付費の財源は、国や都、区市町村の公費が約5割、現役世代の支援金が約4割、被保険者の保険料が約1割である。低所得の方には様々な保険料軽減措置もあり、自己負担分は受益者負担の範囲内と考える。一般会計も厳しい財政運営を強いられていることから、75歳以上の

医療費無料化は考えていない。



平成27年 第1回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の
選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 末次 和夫 (併用)	1 市中央部(4,400坪)の大型パチンコ店建設計画について (1)大型パチンコ店建設計画に対する市の所見について (2)定住化(特に子育て世代)への影響について (3)福生市都市計画マスタープランとの整合性について (4)今後の市の対応について	⑨ 大野 悦子 (一括)	1 福生市の「農」について (1)市内一箇所の田んぼについて (2)これからの「田んぼ」「農」の考え方について 2 親子クッキングコンテストについて (1)状況について (2)積極的に子供の意見、アイデアを呼びかけることについて 3 空き店舗、空き家対策について (1)現状と対策について
② 田村 正秋 (一括)	1 市民農園について (1)利用の現状等について 2 悪質商法・振り込め詐欺対策について (1)市内の現状と対策等について 3 省エネルギー対策について (1)市及び市民の取り組みについて 4 教育行政について (1)成人式の現状と対応について (2)図書館の利用状況と今後の対応について (3)小学校の外国語活動について	⑩ 堀 雄一朗 (併用)	1 妊娠から子育て期までの包括的な支援について (1)子育て世代包括支援センターについて (2)産前・産後サポート事業と産後ケア事業の充実について (3)乳幼児期に必要な用具の貸し出しや購入費補助について 2 市内建築物の耐震化促進について (1)現状と耐震化促進に向けた取り組みについて (2)耐震マーク表示制度について 3 空き家等対策計画について 4 小・中学校でのタブレット端末等導入とICT環境整備 5 宿橋通りと旧田村家住宅(古民家)の活用について
③ 清水 義朋 (一括)	1 横田基地について (1)米軍横田基地の勤務時間外行動指針について (2)航空自衛隊横田基地について 2 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会について (1)福生市としての取り組みについて (2)キャンプ地などの誘致について 3 ふっさっ子未来会議について	⑪ 池田 公三 (併用)	1 市長のリーダーシップによる学校給食費無料化について (1)少子化・人口減少対策としての学校給食費無料化の有効性について (2)行財政改革の視点から見た学校給食費無料化について 2 75才以上の医療費を無料化することについて (1)福生市の後期高齢者医療の現状について (2)福生市における75才以上の医療費無料化について 3 生活保護基準引き下げに伴う就学援助費打ち切りについて (1)政府方針及び近隣自治体の対応と福生市の対応について
④ 杉山 行男 (一問一答)	1 市道LED街灯の効果について 2 道徳教育について (1)今年度、各学校で行われた道徳授業地区公開講座について	⑫ 阿南 育子 (一問一答)	1 子ども家庭支援センターについて (1)現状と課題について (2)若者支援について 2 教育センターについて (1)現状と課題について (2)SSWの現状と課題について (3)個別支援について (4)不登校児童・生徒への対応について 3 多摩川河川敷工事と河川敷の公園の管理について
⑤ 武藤 政義 (一括)	1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について (1)市の取り組みについて (2)交付金の活用について 2 銀座通りインターロッキングの補修工事について (1)補修工事の概要について (2)主な不具合と対応策について	⑬ 青海 俊伯 (一括)	1 福生市の地方創生の取り組みについて (1)市における地方創生の内容 (2)地方創生交付金の有効活用 2 教育委員会改革について (1)現行の教育委員会の課題 (2)福生市の教育委員会改革の目指すこと
⑥ 五十嵐 みさ (一問一答)	1 公共サイン計画について (1)公共施設等の案内表示について (2)市外からの来訪者への案内表示について 2 健康増進施策について (1)若い人の一般健康診査について (2)健康マイレージについて 3 安全・安心のまちづくりについて (1)街頭防犯カメラの設置について (2)登下校時の見守りに関して (3)青色回転灯装備車(青パト)について	⑭ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)横田基地の基地機能強化等の実態について (2)オスプレイの飛来・訓練・配備について (3)関東航空機空中衝突防止会議について 2 市道第1060号線を交差する通学路の安全対策について 3 株式会社設立登録免許税が半額になることについて 4 誰でも乗れる循環バスを走らせることについて 5 JR東福生駅にエレベーターとエスカレーターを設置することについて
⑦ 岩崎 百合子 (一括)	1 地域包括ケアシステムについて (1)システムを構築するための施策について (2)関係部署の連携について 2 中学校給食について		
⑧ 原田 剛 (併用)	1 公有財産の保険及び補償について (1)公有財産の保険について (2)公有財産の補償について 2 介護保険事業について (1)福生市の状況及び特徴と在宅重視の介護施策について (2)リハビリテーションの推進について (3)介護給付の適正化について 3 障がい者の就労支援について (1)障害者優先調達推進法・物品の販売について (2)福祉トライアルショップについて		

委員会の審査から

建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案と、継続審査となっていた陳情の審査が3月17日、18日、19日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で5回行われました。

それから、定住化対策特別委員会が3月20日に、横田基地対策特別委員会が3月23日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

3月17日に委員会が開催され、議案4件を審査し原案のとおり可決しました。また、1件の陳情を継続して審査することとなりました。

建設環境委員会の様子

問 男性の育児参加などの視点は入るのか。

答 国でも全ての女性が輝く政策を提示しており、それを踏まえ、様々な視点で策定していきたい。

問 福生市市営住宅条例の一部を改正する条例

問 入居者の承継はどのようなになっているのか。

答 入居者の配偶者か三親等以内の親族、特別な事情があるものいづれかに該当し、かつ市営住宅の管理上支障がないと認めるとき、承認できる。

問 福生市下水道条例の一部を改正する条例

問 カドミウム等が含まれる水質基準が厳しくなった理由は。

答 平成23年10月、環境省による水質環境基準が強化され、下水道法施行令の改正による。

問 福生市男女共同参画審議会条例

3月18日委員会が開催され、9件の議案を審査

市民厚生委員会

問 平成27年度福生市下水道事業会計予算

問 横田基地の使用料の見直しは。

答 過去3カ年の使用水量の平均を加味して予測し、予算を立てている。

定める条例の一部を改正する条例

問 事故が発生した場合の対応で変更した点は。

答 指定介護予防認知症対応型通所介護以外のサービス提供時の事故発生時の対応について規定を追加した。

問 福生市地域包括支援センターの職員及び運営に係る基準を定める条例

問 地域包括支援センターの人員はどのような配置か。

答 市役所内は、3職種2人ずつ計6人。委託型のセンターは、3職種1人ずつ3人となる。

問 福生市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のた

めの効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例

問 事故発生時の対応で、記録の書式はあるのか。

答 事故報告書については要綱等で定めている。

問 平成26年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

問 後期高齢者保険料が増となった理由は。

答 保険料率の改定による影響額と被保険者数の増などが要因。

問 平成27年度福生市国民健康保険特別会計予算

問 一般会計繰入金が増額となった理由は。

答 歳入の前期高齢者交

付金の減少、歳出の一般被保険者療養給付費と一般被保険者高額療養費の増による。

問 平成27年度福生市介護保険特別会計予算

問 第1号被保険者保険料が増となった理由は。

答 第1号被保険者が増の見込みと介護保険料の負担割合の増による。

問 福生市行政手続条例の一部を改正する条例

問 当市において行政指導の具体的な事例を聞かせてほしい。

答 福生市清潔で美しいまちづくり条例でのポイ捨てに対する指導、福生市まちづくり景観条例での開発建築指導等がある。

た。

問 福生市教育委員会委員の定数を定める条例

問 新教育委員の任期と、新教育長の任期についてはどうなるのか。

答 教育委員会委員の任期は、これまでと同じ4年となり、新たな教育長の任期は3年となる。

問 福生市市職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

問 報酬改定後、他市との比較はどうなるのか。

答 改定前は26市の平均の報酬額と比較して、当市の嘱託員報酬16件が低い状況であったが、改定後は5件が他市並みの水準になる。それでも11件低い、そのうちの4件ほどの報酬額については、他市の平均に近い。

問 福生市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

問 定期昇給を4月1日から10月1日に変更した理由は何か。

答 人事考課は、通年で評価すべきものだが、運用上、1月1日を基準に評価をし、その後、事務的な手続を経て4月に反映することになり、年度末3カ月の評価は反映しにくい。10月にすることで、より深く反映ができる。

問 福生市学校給食センター運営審議会条例及び福生市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例

問 教育部を置く理由は。

答 教育委員会事務局で

部制をとっていないのは、26市中、福生市と国立市のみであり、市民にわかりやすい組織名称という観点から変更する。

問 平成26年度福生市一般会計補正予算(第5号)

問 歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 ふるさと人づくりまちづくり基金積立金の具体的な活用方法をどう考えているか。

答 義務教育就学児医療費助成事業費、健康診査費のうち胸部レントゲン検査委託料、福生七夕まつり委託料などに充当する予定。

問 改修したわかたけ会館を視察

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め5回開催されました。

議会議事運営委員会

総務文教委員会

3月4日と19日に委員会が開催され、9件の議案と2件の陳情を審査しました。議案はすべて採択され、陳情は継続して審査することとなりました。



▲病児保育室あんずを視察



▲建設環境委員会の様子

▲改修したわかたけ会館を視察

▲改修したわかたけ会館を視察

定住化対策特別委員会調査結果報告書概要

定住化対策特別委員会では、平成26年3月に定住化対策特別委員会中間報告を提出し、住宅施策についての要望書を提出しました。引き続き、本特別委員会は、付議事件として新たに子育て施策（福生市子ども・子育て支援事業計画について）を調査目的に加え、さらなる定住化促進に向け、調査・研究を行ってまいりました。

国では、急速な少子化、家族構成の変化により、子育てをしやすい社会にしていけるために「子ども・子育て関連3法」が平成24年8月に成立し、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月から施行されます。それを受け、福生市子ども・子育て審議会を設立し種々検討を重ね、当審議会から平成26年8月に「福生市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、その基本的な考え方」についての答申がされ、その答申を受け「福生市子ども・子育て支援事業計画（案）」が市長から示されました。この計画は、幼児期の学校教育・保育や子ども・子育て支援を計画的に推進するため、子ども・子育て施策の総合的、一体的な取り組みの方向性や目標を定め、【子育てするならふっさ】を一層推進するために、策定されたものです。この計画案に対し、本特別委員会でも、様々な角度から調査・研究をした結果、9項目の要望書を本会議に提出、議会として可決し、平成26年12月16日付けで市長に送付しました。

その後、本委員会の調査事項については全て調査を終了したことから、本会議において、定住化対策特別委員会調査結果報告書を提出、委員長報告の後、採決をし、定住化対策特別委員会は解散となりました。

【要望事項】

- 1 現行事業と子ども子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法の事業との整合性を図ること。
- 2 計画の中に、子どもへの支援に係る事業を全て網羅すること。
- 3 計画中の事業名等の表記の整合性を図ること。
- 4 幼稚園及び保育所が認定こども園に移行する場合には、積極的に支援を行い、保護者が必要とする教育、保育の選択肢を拡げること。
- 5 児童の放課後の過ごし方について地域や学校を含めた関係部署等で協議をして、学童クラブとふっさっ子の広場の長所を活かした事業連携を深めること。
- 6 個別的支援の必要な子どもへ、きめ細やかな対応を図ること。
- 7 「早寝・早起き・朝ごはん」を更に推進し、子ども達に、より良い生活習慣が身に付くよう支援すること。
- 8 様々な障害に対応できるように、放課後等児童デイサービスの更なる充実を図ること。
- 9 新規事業も含めた市独自事業をはじめ先進的事業について積極的に周知を図ること。また、本計画策定時には広く周知すること。

次回定例会のお知らせ

平成27年第2回定例会は、6月9日(火)から6月26日(金)までを予定しています。

◎補聴器をお使いの方のために、議場には補聴器に直接音声を送る磁気ループを完備しています。

◎傍聴におでかけください。

- ◆本会議（予定）午前10時開会
6月9日(火)～6月12日(金)及び6月26日(金)
- ◆常任委員会（予定）午前10時開会
6月16日(火)～18日(木)

ご利用ください!!「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

ケーブルテレビによる議会中継を行います。

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

平成27年 第1回定例会本会議の概要

・傍聴者数 延べ35名
・インターネット議会中継閲覧数 (3月3日～3月27日) 延べ412件

1月25日発行の195号に誤りがありました。お詫びして、次のとおり訂正します。7ページ委員会の審査からのうち市民厚生委員会のなかで、「平成12年に創設された制度である。」とありますが、「平成21年に創設された制度である。」の誤りです。

◆定住化対策特別委員会は、本市の人口が平成14年をピークに、減少に転じ、特に、29歳以下の構成比率の減少が目立って

◆3月27日の本会議で、本報告書を上程し、全員異議なく原案どおり可決されました。

◆3月20日に当委員会を開催しました。協議の内容は、2月16日作成した定住化対策特別委員会調査結果報告書を検討して、当初案どおり決定しました。（詳細は上段の報告書概要をご覧ください。）

◆定住化対策は、住宅施策や子育て施策のみならず、商工業施策、高齢者施策など市政全般にわたる施策が必要です。

市が推進している定住化対策のための新5G施策を注視し、今後も、新たな提案をしていきます。

議会としては、現在、

◆定住化対策は、住宅施策や子育て施策のみならず、商工業施策、高齢者施策など市政全般にわたる施策が必要です。

◆定住化対策は、住宅施策や子育て施策のみならず、商工業施策、高齢者施策など市政全般にわたる施策が必要です。

①防衛省所管の基地周辺対策経費（再編交付金を含む）は、対前年度比2.2%増の134億6800万円。

②総務省所管の基地交付金等は、対前年度と同額の345億4千万円。

③当市への26年度の交付額は、基地交付金が対前年度比1.3%減の16億921万3千円。9条交付金は、2.7%増の3億8722万3千円。

④2月17日、日米合同委員会において、所沢通信施設関連で、横田基地への倉庫1棟の移設承認が合意されました。

⑤横田基地有志によるボランティア活動について、2月22日に道路清掃が行われ、3月25日には公園清掃が行われる予定です。

④2月17日、日米合同委員会において、所沢通信施設関連で、横田基地への倉庫1棟の移設承認が合意されました。

⑤横田基地有志によるボランティア活動について、2月22日に道路清掃が行われ、3月25日には公園清掃が行われる予定です。

④2月17日、日米合同委員会において、所沢通信施設関連で、横田基地への倉庫1棟の移設承認が合意されました。

◆教育委員会改革に伴う関連条例も改正されました。総合教育会議の設置により、我が市の教育環境も大きく変化しようとしています。「子育てするならふっさ」のまちづくりに向けた施策を承認・可決しました。

◆教育委員会改革に伴う関連条例も改正されました。総合教育会議の設置により、我が市の教育環境も大きく変化しようとしています。「子育てするならふっさ」のまちづくりに向けた施策を承認・可決しました。

◆教育委員会改革に伴う関連条例も改正されました。総合教育会議の設置により、我が市の教育環境も大きく変化しようとしています。「子育てするならふっさ」のまちづくりに向けた施策を承認・可決しました。

◆教育委員会改革に伴う関連条例も改正されました。総合教育会議の設置により、我が市の教育環境も大きく変化しようとしています。「子育てするならふっさ」のまちづくりに向けた施策を承認・可決しました。

定住化対策 特別委員会

横田基地対策 特別委員会

特別委員会活動から...

いる現状から、定住化を促進するために、住宅施策を目的に平成25年5月16日に設置にされ、その後、子育て施策（福生市子ども・子育て支援事業計画について）を新たに追加し、調査研究を行い、市長に要望を行ってまいりました。

3月23日に委員会が開催され、3件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

3. 横田基地に関する情報等について

◆教育委員会改革に伴う関連条例も改正されました。総合教育会議の設置により、我が市の教育環境も大きく変化しようとしています。「子育てするならふっさ」のまちづくりに向けた施策を承認・可決しました。